

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールA (Seminar of Study A)		
ナンバリングコード	L31204	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120406	クラス名	近藤研究室
担当教員名	近藤 正一		
履修上の注意、 履修条件	近藤研究室に配属された学生のみ履修することができます。 将来何を自分の専門分野とするか、自身の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。		
教科書	適宜、参考図書を紹介します。		
参考文献及び指定図書	優良図書を随時紹介します。		
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目		

○基本情報		
授業の目的	研究ゼミナールAでは、自分のもっとも興味のある建築分野を研究している研究室に所属し、その指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。	
授業の概要	例えば、卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習、作品制作や実験あるいはそれらのための様々な準備、資格取得のための勉強会など、指導教員により指導内容は異なります。各指導教員のもとで各自がそれぞれのテーマを設定し、上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して自主的に研究活動を行ってください。 また、各指導教員と親密に接触できる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野を見つけ出し、問題意識をもつ。		10点	10点
【知識・理解】	②研究室活動を体験する。 ③専門分野に関係する資格試験に挑戦する。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	④具体的なフィールドワークや実験を実践する。		20点	20点
【思考・判断・創造】	⑤専門分野への問題意識と探究心を抱くことができる。		10点	5点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバック方法については、次回以降の授業中に講評・解説を行います。				

○その他
活動内容を研究室のホームページに掲載することがあります。 http://www.nbu.ac.jp/~kondo/

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	研究ゼミナールA（Seminar of Study A）	授業コード	L120406
		担当教員	近藤 正一		
学修内容					
1. ゼミナールの準備					
研究室活動を始めるための準備をします。まずは、研究環境の整備を行います。原則として、各自座席と収納棚が与えられます。そのうえで、今後の活動内容について話し合います。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。			約2時間
2. ゼミナール活動の紹介					
研究室におけるこれまでの活動を紹介します。今後の活動について考えるための課題を与えます。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。			約2時間
3. ゼミナール活動の準備					
製図台やパソコン、その他の備品など、研究室・研究設備の使い方を説明します。今後の活動の準備をします。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。			約2時間
4. 専門分野の基礎知識					
それぞれの専門分野における研究室活動に必要となる専門知識について概説し、問題意識を醸成します。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。			約2時間
5. 研究室活動1					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、見学会などを行います。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。			約2時間
6. 研究室活動2					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、講習会などを行います。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。			約2時間
7. 研究室活動3					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、研究会などを行います。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。			約2時間
8. 研究室活動4					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、討論会などを行います。					
予習		ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。			約2時間
復習		ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。			約2時間

○授業計画		科 目 名	研究ゼミナールA（Seminar of Study A）	授業コード	L120406
		担当教員	近藤 正一		
学修内容					
9. 研究室活動5					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、共同調査などを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
10. 研究室活動6					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、合同実験などを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
11. 研究室活動7					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、フィールドワークなどを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
12. 研究室活動8					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、データ処理などを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
13. 研究室活動9					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、分析・考察などを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
14. 研究室活動10					
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、プレゼンテーションなどを行います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
15. 前期のまとめ					
これまでの研究室活動のまとめをします。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。				約2時間
16.					
予習					
復習					